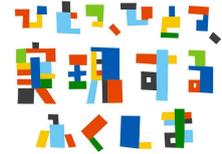


主要な農作物の生育情報

令和4年度 第5号

(令和4年8月10日)

福島県農林水産部農業振興課



【作物】

1 水稲（農業総合センターの作柄解析試験における8月2日現在の生育概況）

農業総合センターの生育調査におけるひとめぼれの出穂期は、本部（郡山市）が8月2日時点で未達、会津地域研究所（会津坂下町）が3日遅れ、浜地域研究所（相馬市）が1日遅れとなっています。

表1 農業総合センターにおける水稲の生育ステージ（令和4年8月2日現在）

調査場所	品 種	移植期 月.日	幼穂形成始期 月.日	出穂期 月.日	成熟期 月.日
本 部	ひとめぼれ	5.16	7.15 (+2)	[8. 3]	[9.15]
	天のつぶ	5.16	7.14 (+1)	[8. 4]	[9.16]
	コシヒカリ	5.16	7.23 (+2)	[8.11]	[9.26]
会津地域研究所	ひとめぼれ	5.19	7. 7 (-1)	8. 1(+3)	[9.12]
	天のつぶ	5.19	7. 9 (-2)	[7.31]	[9.14]
浜地域研究所	ひとめぼれ	5.10	7. 8 (+2)	8. 1(+1)	[9.14]
	天のつぶ	5.10	7. 8 (+1)	[8. 2]	[9.23]
	コシヒカリ	5.10	7.18 (+4)	[8. 8]	[9.28]

注1) 調査場所は、本部が郡山市、会津地域研究所が会津坂下町、浜地域研究所が相馬市。

注2) ()内の数字は、前5カ年平均値との差を示す。

注3) []内は、前5カ年平均値を示す。

2 大豆（農業総合センターの作柄解析試験における生育概況）

農業総合センターの生育調査における大豆の開花期は、本部（郡山市）が平年並から1日早く、会津地域研究所が平年より2日早く、浜地域研究所では7月27日時点で未達となっています。

表2 農業総合センターにおける大豆の生育ステージ（令和4年7月27日現在）

調査場所	品 種	播種期 月.日	出芽期 月.日	5葉期 月.日	開花期 月.日	成熟期 月.日
本 部	タチナガハ	6. 1 (+1)	6.14 (+2)	7. 4 (-2)	7.26 (0)	[10.24]
	あやこがね	6. 1 (+1)	6.12 (0)	7. 2 (-4)	7.24 (-1)	[10.18]
会津地域研究所	あやこがね	6. 1 (+1)	6. 9 (-1)	7. 6 (+1)	7.23 (-2)	[10.14]
浜地域研究所	タチナガハ	6.14 (+5)	6.23 (+4)	7.19 (+6)	[8. 2]	[10.25]

注1) 調査場所、()及び[]内の数字の内容は表1に同じ。

【野菜】

1 きゅうり

県北地方の5月上旬定植の雨よけ栽培では、収穫ピーク後の中休み中です。県北、県中地方の5月下旬定植の露地栽培では、側枝の収穫中です。

病害虫は、べと病、炭そ病、褐斑病の発生が見られています。

2 トマト

県南地方の4月定植の作型では、現在収穫中で9～10段花房開花となっています。南会津地方の5月下旬定植の作型では、7月下旬から収穫が始まり、7段果房開花となっています。

3 ピーマン

県中地方の4月定植のトンネル栽培、5月定植の露地栽培は、収穫ピークを迎えています。目立った病害虫の発生は見られていません。

4 さやいんげん

県中地方の5月中下旬定植の作型は収穫終盤となっています。

病害虫は、アザミウマ類、メイガ類、さび病の発生が散見されています。

【果 樹】（農業総合センター果樹研究所における8月5日現在の生育概況）

1 も も

「あかつき」の収穫盛期は7月30日で平年より5日早く、昨年より6日遅くなりました。果実の大きさは347gで平年より大きく、糖度は12.6° Brixで平年並となっています。

「ゆうぞら」の果実肥大は、暦日比較では縦径が65.5mm（平年比104%）、側径が64.5mm（平年比114%）と平年より大きい状況です。満開後日数の体積指数で比較すると、平年並となっています。

2 な し

果実肥大の暦日比較では、「幸水」は縦径が61.9mm（平年比109%）、横径が76.0mm（平年比110%）、「豊水」は縦径63.6mm（平年比113%）、横径が72.1mm（平年比114%）と両品種とも平年より大きい状況です。満開後日数の体積指数で比較すると、両品種ともに平年より大きい状況です。

平均気温と降水量を基にしたDVRモデルによる「幸水」の収穫予測では、収穫盛期は8月26日頃で平年より3日早い見込みです。

3 りんご

果実肥大の暦日比較では、「つがる」は縦径が72.9mm（平年比107%）、横径が82.1mm（平年比106%）、「ふじ」は縦径が64.9mm（平年比107%）、横径が70.4mm（平年比105%）と両品種とも平年よりやや大きい状況です。満開後日数の体積指数で比較すると、「つがる」は平年よりやや大きく、「ふじ」は平年並となっています。

【花 き】

1 キク類

8月咲きは、草丈は平年並からやや短くなっています。開花期は平年より5～7日程度遅くなっていますが、盆の需要期である8月上旬にはおおむね収穫を終えました。9月咲きは、順調に生育しています。

病害虫では、白さび病やハダニ類の発生が散見されています。

2 リンドウ

8月盆向けの早生品種は、草丈は長くなっています。開花期は平年並～7日程度遅くなっており、8月中旬まで収穫が続く見込みです。9月彼岸向けの中生品種は、順調に生育しています。

病害虫は、一部ほ場で、葉枯病、黒斑病、ハダニ類、カメムシ類の発生が散見されています。

【飼料作物】

1 牧草

牧草は、平坦部、山間部共に2番草の収穫作業が行われていますが、天候が不安定であるため、作業は滞っています。

2 飼料用トウモロコシ

飼料用トウモロコシは、順調に生育しています。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>）等を活用し、適切に対応しましょう。

☆ 農作業事故を防止しましょう！

暑い日が続きますので、体調管理に十分留意し熱中症対策をしっかり行い、農業機械の操作にも注意しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7344

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiikujyouthou>